

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種110社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を四半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2020年7月～9月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】2020年7月～9月

【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、110社にアンケート調査を実施した。

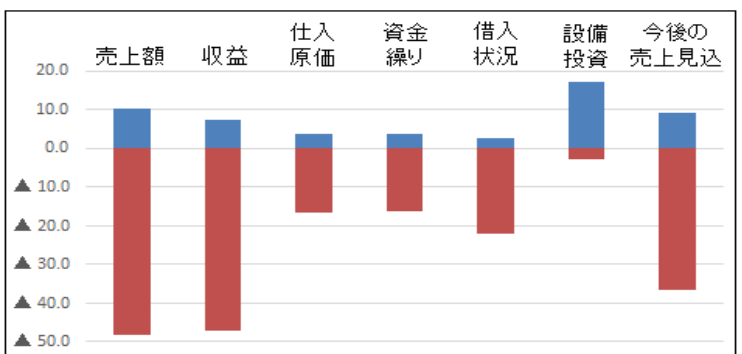
(回答企業数:93社、回答率:84.5%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100-(④+⑤)／全体数×100でDIを算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	4	11	16	34	28	減少
収益	増加	1	12	18	36	26	減少
仕入原価	低下	1	5	58	27	2	上昇
資金繰り	好転	0	7	57	28	1	悪化
借入状況	減少	0	5	56	23	9	増加
設備投資	増加	0	32	57	3	1	減少
今後の売上見込	増加	0	17	24	36	16	減少

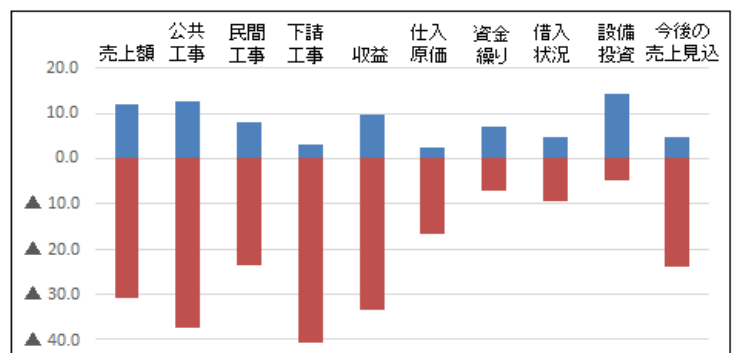


2020年7月～9月にかけての全業種のDI値については、新型コロナウイルス感染症の影響により、建設業を除き全ての業種で設備投資以外がマイナスであった。特に売上額▲38.2ポイント、収益▲39.8ポイント、今後の売上見込▲27.4ポイントと大幅な減少となっている。

設備投資については、各種補助金活用の効果等により、32社(34.8%)が増加となっている。

今後の売上見込みについては、Go Toトラベル、Eat等の施策の後押しもあり観光サービス業の一部で回復傾向が見られるものの、依然として感染症の先行きが見えない状況等により、52社(55.9%)が減少となっている。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	3	6	9	2	減少
公共工事(元請)	増加	1	2	5	4	4	減少
民間工事(元請)	増加	0	3	8	7	1	減少
下請け工事	増加	0	1	6	5	4	減少
収益	増加	0	4	6	8	3	減少
仕入原価	低下	0	1	14	5	1	上昇
資金繰り	好転	0	3	15	3	0	悪化
借入状況	減少	0	2	15	4	0	増加
設備投資	増加	0	6	13	2	0	減少
今後の売上見込	増加	0	2	9	10	0	減少

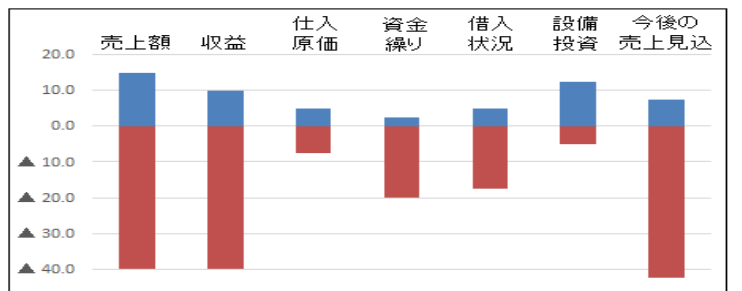


※公共工事なし5件、民間工事なし2件、下請け工事なし5件。

建設業のDI値は、公共工事、民間工事、下請け工事共に減少しているものの前期より回復している。

しかしながら、今後の売上見込では、10社(47.6%)が減少となっており、公共工事の削減や民間需要の低迷を危惧されている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	1	4	4	6	5	減少
収益	増加	1	2	6	6	5	減少
仕入原価	低下	0	2	16	1	1	上昇
資金繰り	好転	0	1	11	8	0	悪化
借入状況	減少	0	2	13	3	2	増加
設備投資	増加	0	5	14	0	1	減少
今後の売上見込	増加	0	3	4	9	4	減少

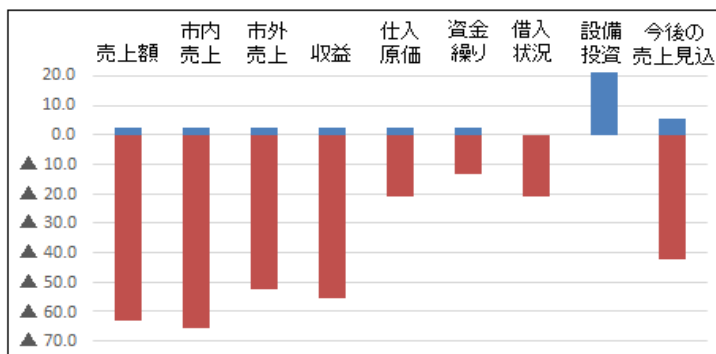


小売業のDI値では、売上額▲25.0ポイント、収益▲30.0ポイントと依然、減少しているものの前期より回復している。

しかしながら、今後の売上見込については▲35.0ポイントと前期より微減と同じ水準で減少の見込となっている。

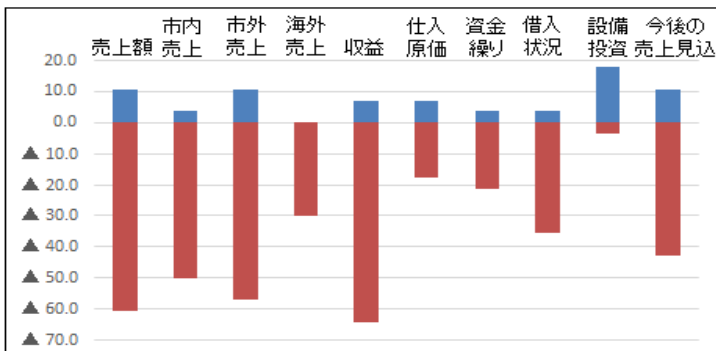
※最近の売れ筋傾向: サポカー補助金対象車、ニット製品、空調機器、弁当、地酒

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	1	3	6	9	減少
市内売上	増加	0	1	3	5	10	減少
市外売上	増加	0	1	6	4	8	減少
収益	増加	0	1	4	7	7	減少
仕入原価	低下	0	1	10	8	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	13	5	0	悪化
借入状況	減少	0	0	12	6	1	増加
設備投資	増加	0	8	11	0	0	減少
今後の売上見込	増加	0	2	7	4	6	減少



卸売業のDI値は、市内売上▲63.2ポイント、収益▲52.6ポイントと依然、厳しい状況が続いている。しかしながら、設備投資は21.1ポイント増加し、今後の売上見込も前期より13.2ポイントと回復している。

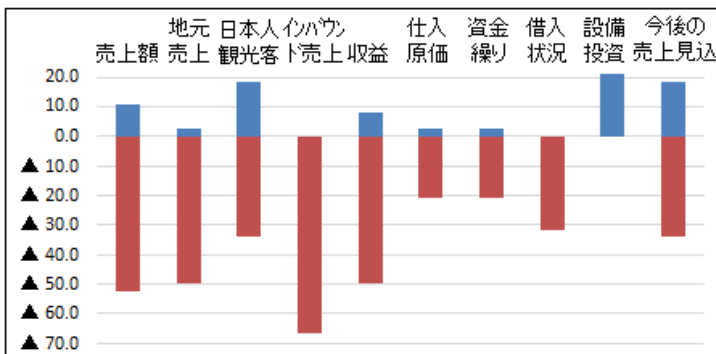
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	1	1	5	6	減少
市内売上	増加	0	1	3	6	4	減少
市外売上	増加	0	3	2	2	7	減少
海外売上	増加	0	0	2	3	0	減少
収益	増加	0	2	1	4	7	減少
仕入原価	低下	1	0	8	5	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	8	4	1	悪化
借入状況	減少	0	1	6	4	3	増加
設備投資	増加	0	5	8	1	0	減少
今後の売上見込	増加	0	3	1	8	2	減少



製造業のDI値は、市内売上▲46.4ポイント、市外売上▲46.4ポイントと全体でも▲50.0ポイントと厳しい状況が続いている。今後の売上見込についても▲32.1ポイントと10社(71.4%)が減少の見込であるが前期より34.6ポイント改善している。

※海外売上なし9件。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	2	2	8	6	減少
地元売上	増加	0	1	5	6	6	減少
日本人観光客売上	増加	2	3	5	5	4	減少
インバウンド売上	増加	0	0	2	2	5	減少
収益	増加	0	3	1	11	4	減少
仕入原価	低下	0	1	10	8	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	10	8	0	悪化
借入状況	減少	0	0	10	6	3	増加
設備投資	増加	0	8	11	0	0	減少
今後の売上見込	増加	0	7	3	5	4	減少



観光サービス業のDI値は、Go Toトラベル、Eat等の施策により日本人観光客売上が回復傾向にあり▲15.8ポイント(前期▲84.4ポイント)であったが、売上額(全体)は▲42.1ポイント(前期▲91.2ポイント)と依然として厳しい状況が続いている。

※地元売上なし1件、インバウンド売上なし10件。

問2 現在直面している経営上の問題点(コロナウィルス感染症含む)についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計 (回答割合)
①売上減少	9	14	15	9	13	60 64.5%
②雇用問題	11	6	5	7	5	34 36.6%
③採算の悪化	6	6	4	4	7	27 29.0%
④後継者問題	1	1	3	3	1	9 9.7%
⑤資金繰りの悪化	1	1	4	3	4	13 14.0%
⑥感染症対策等のコスト負担	1	1	0	2	8	12 12.9%
⑦その他	0	2	2	1	2	7 7.5%

※その他: 【小売業】大手による衛生商品の買い占め。【卸売業】魚の水揚げが少ない。建物の修繕。【製造業】直販の機会の減少。【観光サービス業】Go To等の施策終了後の見通し不安(2件)。

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計 (回答割合)
①金融支援	1	3	5	3	1	13 14.0%
②国、府、市等の給付金	7	4	9	5	14	39 41.9%
③税の減免	7	9	9	8	13	46 49.5%
④雇用対策	7	1	4	4	5	21 22.6%
⑤感染症対策	3	3	2	1	2	11 11.8%
⑥補助金・助成金	8	11	11	6	14	50 53.8%
⑦プレミアム商品券事業	1	2	0	1	4	8 8.6%
⑧その他	2	2	0	2	1	7 7.5%

※その他: 【建設業】車両購入に使える補助金。公共工事発注の増加。【小売業】キャッシュレス手数料補助。商品販売ができるイベントの開催等。【製造業】宮津市のプラットフォーム形成。高速道路値下げ。

◆ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。